

財っ子通信 第2号 文責 校長：三樹和幸

やりたいこと できることが増え

やらなければならないことが 確実に定着し みんなが伸びる学校

財光寺小学校

電話：54-2825

校長 Email:

zaikoji-k@hyugacity.jp

5月も半ばを過ぎました。新しい学年が板についてきた子供たちですが、ご家庭での様子は、「さすが学年が一つ上がると違うよね」となってきたでしょうか。

時間を管理する

今から、20年ほど前に勤務していた学校の校長先生からは、数々の忘れることのできない貴重な助言を頂きました。その中から、時間を管理することの大切さを少し紹介します。

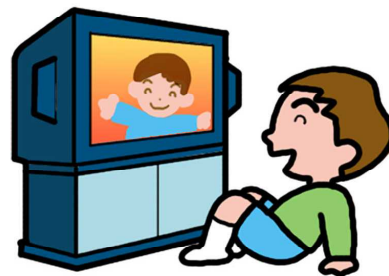
学校から帰ると、子供たちは、様々な誘惑との戦いが待っています。

- ・テレビを見終わってから宿題をしようかな
- ・もう少しDSの続きをしたいな

など、やらなければならないことを先延ばしにする子も多いと思います。この時に一番大切なのは、決められた時刻（例えば、午後9時半）までに終わるということです。

一番やってはいけないのは、やりたい遊びや見たいテレビも十分見た後に、夜遅くまで勉強を頑張り、寝る時間をずらすことです。このようなやり方では、子どもは自立も自律もしません。9時半までに寝るには、テレビは、この番組しか見れないな、宿題は夕ご飯の前にやっておこうといった具合に限られた時間を管理する力が必要になります。そして、この力がつければ、中学、高校でも伸びが期待できます。やりたいことを全部やって、やらなければならないことを先延ばしにして、次の日は眠くてしょうがないでは、やっている学習時間は同じでも、効果は全然違います。

時間管理の力は、きっと将来役立ちます。ちなみに、このやり方で躰をしたご家庭からは、力をぐっと伸ばし、今も活躍している方が育っています。まずは、この壁を乗り越えましょう。



学校のリーダーたち

校門前では、毎朝、生活委員会の児童が、あいさつ運動を繰り広げています。元気のよい挨拶が学校中に広がるように、とても大きな声で気持ちがいいです。子供たちは、入学して卒業するまでに、約1200日学校に通います。家族や兄弟、地域の見守り隊の方々、校門にいる委員会の子ども、先生方に、毎日8回すれば、卒業するまでに1万回の「おはようございます」が言えます。きっと、相手が爽やかになる挨拶が身につきます。

「挨拶のできない子は、大成しない」と本県出身のオリンピック柔道メダリストの大迫コーチが言っています。挨拶は、相手の雰囲気を見ながらタイミングよくするもの。そのタイミングや呼吸が分からずに、いい技がかけられるはずはないとも言われました。

そうであるならば、他のスポーツでも同じ。挨拶さえ躊躇する子が、アグレッシブなプレーができるだろうか、見方の呼吸に合わせたパスが出せるだろうか。

毎日の挨拶で力をつける。そんな学校でありたいものです。

【西門で挨拶運動をする生活委員】

